

アンサンブル・ノマド 第56回定期演奏会



2016
5/8 Sun

東京オペラシティ リサイタルホール
15:30開場 16:00開演

照らし合うものVol.1 パラフレーズの広場 再生の泉

ゆがんだ鏡張りの部屋を
さまよう眩惑のノマド

出演者

Ensemble NOMAD

木ノ脇道元 (fl)
菊地秀夫 (cl)
野口千代光・花田和加子 (vn)
甲斐史子 (va)
菊地知也 (vc)
佐藤洋嗣 (cb)
稲垣 聡 (pf)
宮本典子 (perc)
佐藤紀雄 (cond/gt/e-gt)

Guests

吉川真澄 (sop)
鈴木広志 (sax)

イサン・ユン (編:木ノ脇道元):大王のテーマ (1976/2013)

Isang Yun (arr.: D. Kinowaki): Königliches Thema

平野一郎:龍を踏む者 (2016) ~世界初演

Ichiro Hirano: DRAGON TREADERS – World Premiere

木ノ脇道元:NOMAD rmx—聖なる舞踏 (2015)

Dogen Kinowaki: NOMAD rmx – Apotheose des tanzes

木ノ脇道元:NOMAD rmx—幾りえ (2016) ~世界初演

Dogen Kinowaki: NOMAD rmx – KI-RI-E – World Premiere

アレハンドロ・ヴィニャオ:リズムの手帳 (2000)

Alejandro Viñao: Cuaderno del Ritmo

J.S.バッハ (編:木ノ脇道元):6声のリチェルカーレ (1747/2016)

Johann Sebastian Bach (arr.: D. Kinowaki): Ricercar a 6

J.S.バッハ/C.グノー (編:木ノ脇道元):

アヴェ・マリア (1722/1859/2013)

Johann Sebastian Bach - Charles Gounod
(arr.: D. Kinowaki): Ave Maria

チケット

【前売】一般	¥3,000
大学生	¥2,000
高校生以下	¥1,000
【当日】一般	¥3,500
大学生	¥2,500
高校生以下	¥1,500

(就学前のお子様の同伴・ご来場はご遠慮下さい)

チケット取り扱い

東京オペラシティチケットセンター
Tel:03-5353-9999

お問い合わせ

キーノートTel:0422-44-1165
keynote_music@fol.hi-ho.ne.jp

主催/アンサンブル・ノマド

<http://www.ensemble-nomad.com/>

助成/NOMURA FOUNDATION

公益財団法人 朝日新聞文化財団



アンサンブル・ノマド 第56回定期演奏会

照らし合うものVol.1

パラフレーズの広場、再生の泉

初めての試みとしてメンバーの木ノ脇がプロデュースする今回の定期演奏会は、「引用」「再作曲」「パラフレーズ」をテーマに、よく知られた名曲たちが作り直されて変身していく様をお楽しみいただきたいと思います。平野一郎さんの新曲は、バーンスタインの「ウエスト・サイド・ストーリー」などを引用した林 光の「アメリカ・アメリカ」を下敷きにして、更に再作曲をする試み。他にもバッハやドビュッシーといったヨーロッパのクラシックがアルゼンチンや日本、韓国といった異文化の中でどのように理解され、作り直されたのか。「再創作」ということを軸に、音楽の東西を俯瞰する演奏会。この演奏会自体がアンサンブル・ノマド定期演奏会#41「引用の織物」の5年越しのエコーにもなっている仕掛け。

歪んだ鏡張りの部屋をさまようような、めまいをもたらすアンサンブル・ノマドをお楽しみください。

アンサンブル・ノマド 木ノ脇道元

Guests

吉川真澄 (sop)

鈴木広志 (sax)

Ensemble NOMAD



photo by Akitoshi Higashi

#56出演メンバー:木ノ脇道元(fl) 菊地秀夫(cl) 野口千代光・花田和加子(vn) 甲斐史子(va) 菊地知也(vc) 佐藤洋嗣(cb) 稲垣 聡(pf) 宮本典子(perc) 佐藤紀雄(cond/gt/e-gt)

1997年、ギタリスト佐藤紀雄の呼びかけによって集まった、無類の個性豊かな演奏家によって結成されたアンサンブル。「NOMAD」(遊牧、漂流)の名にふさわしく、時代やジャンルを超えた幅広いレパートリーを自在に採り上げ、斬新なアイデアやテーマによるプログラムによって独自の世界を表現するアンサンブルとして内外から注目されてきた。2002年度に行った定期演奏会「ケージとメシアンの間で交わす自然と宇宙に関する往復書簡」は大きな反響をよび、サントリー音楽財団「第2回佐治敬三賞」を、2014年度に行った定期演奏会「再生へVol.3:祈り〜エストニアから震災復興を祈るコンサート」により「ウィーン・フィル&サントリー音楽復興祈念賞」を受賞した。海外からの招待も多く、2000年オランダの「ガウデアムス音楽週間」、2003年ベネズエラで行なわれた「フェスティバル・アテンポ」、2005年11月パリで行われた「フェスティバル・アテンポ」およびイギリスの「ハダースフィールド現代音楽祭」、2007年にはメキシコの「モレリア音楽祭」、また2008年10月にはソウルでの「パン・ムジーク・フェスティバル」などに出演。2009年秋には、中国の北京首都師範大学、北京中央音楽学院、四川音楽学院で中国人作品を中心としたプログラムの公演を行ない、好評を博した。2011年には2度目の韓国公演を開催。2013年7月にはエストニアとオランダで公演を開催。2014年にはメキシコのセルバンティーノ音楽祭に日本を代表するアンサンブルの1つとして招聘された。2015年12月には再び中国四川公演を行ったほか、今後もスイスやフィンランド、ドイツなどでの公演を予定している。

東京オペラシティ リサイタルホール



東京都新宿区西新宿3-20-2 東京オペラシティB1F
Tel: 03-5353-0788
京王新線「初台駅」東口下車徒歩3分

また、近年ではアウトリーチ活動にも積極的に取り組み、保育所、病院、小学校、特別支援学校等で訪問コンサートやワークショップを行なっている。

CDは、近藤 謙「梶子」(ALCD-47)、「空の眺め」(ALCD-57)、「オリент・オリエンテーション」(ALCD-67)、「表面・奥行き・色彩」(ALCD-93)、石田秀実「神聖な杜の湿り気を運ぶもの」(ALCD-60)、池辺晋一郎「炎の資格」(CMCD-28121)、福士則夫「花降る森」(CMCD-28128)が発売されている。海外では2011年秋にエベルト・ヴァスケスの「Bestiario(動物寓話集)」、2015年秋に「Pruebas de vida(生命の証)」がリリースされている。2014年にはオリジナル・アルバム「巡るーMeguru」を発売。2015年夏から秋にかけて発売された「現代中国の作曲家たち」シリーズは、レコード芸術誌の特選盤や朝日新聞の「for your collection」推薦盤に選ばれている。公式ウェブサイト:www.ensemble-nomad.com/